

劇薬、処方箋医薬品

子宮収縮止血剤

日本薬局方 メチルエルゴメトリンマレイン酸塩錠

メチルエルゴメトリン錠0.125mg「あすか」

子宮収縮止血剤

メチルエルゴメトリンマレイン酸塩注射液

メチルエルゴメトリン注0.2mg「あすか」

－ 医薬品の適正使用に欠かせない情報です。必ずお読みください。－

「使用上の注意」改訂のお知らせ

この度、標記製品の「使用上の注意」を改訂いたしましたので、お知らせ申し上げます。
本剤のご使用に際しましては、下記の改訂内容をご参照くださいますようお願い申し上げます。
改訂内容につきましては、医薬品安全対策情報（DSU）No.324 に掲載される予定です。

2024年1月

あすか製薬株式会社

改訂内容（ _____ : 改訂箇所）

改訂後	改訂前
<p>2. 禁忌（次の患者には投与しないこと）</p> <p>2.1～2.5 省略</p> <p>2.6 HIVプロテアーゼ阻害剤（<u>リトナビル含有製剤</u>、アタザナビル、ホスアンプレナビル、ダルナビル含有製剤）、エファビレンツ、アゾール系抗真菌薬（イトラコナゾール、ボリコナゾール、ボサコナゾール）、コビススタット含有製剤、ニルマトレルビル・リトナビル、レテルモビル、エンシトレルビル、<u>レナカパビル</u>、5-HT_{1B/1D}受容体作動薬（スマトリプタン、ゾルミトリプタン、エレトリプタン、リザトリプタン、ナラトリプタン）、エルゴタミン・無水カフェイン・イソプロピルアンチピリンを投与中の患者 [10.1参照]</p>	<p>2. 禁忌（次の患者には投与しないこと）</p> <p>2.1～2.5 省略</p> <p>2.6 HIVプロテアーゼ阻害剤（リトナビル、アタザナビル、ホスアンプレナビル、ダルナビル）、エファビレンツ、アゾール系抗真菌薬（イトラコナゾール、ボリコナゾール、ボサコナゾール）、コビススタット含有製剤、ニルマトレルビル・リトナビル、レテルモビル、エンシトレルビル、5-HT_{1B/1D}受容体作動薬（スマトリプタン、ゾルミトリプタン、エレトリプタン、リザトリプタン、ナラトリプタン）、エルゴタミン・無水カフェイン・イソプロピルアンチピリンを投与中の患者 [10.1参照]</p>

（次ページへ続く）

改訂内容 (_____ : 改訂箇所、 _____ : 削除箇所)

改訂後			改訂前																										
<p>10. 相互作用 本剤は主にCYP3A4で代謝される。</p> <p>10.1 併用禁忌 (併用しないこと)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>薬剤名等</th> <th>臨床症状・措置方法</th> <th>機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>HIVプロテアーゼ阻害剤 リトナビル含有製剤(ノビーア、カレトラ) アタザナビル(レイアタッツ) ホスアンブレナビル(レクシヴェア) ダルナビル含有製剤(プリジスタ、プリジスタナインブ、プレジコビックス、シムツーザ) エファビレンツ(ストックリン) アゾール系抗真菌薬 イトラコナゾール(イトリゾール) ボリコナゾール(ブイフェンド) ボサコナゾール(ノクサフィル) コピシスタット含有製剤(ゲンボイヤ、プレジコビックス、シムツーザ) ニルマトレルビル・リトナビル(パキロビッド) レテルモビル(プレバイミス) エンシトレルビル(ゾコーバ) レナカナビル(シュンレンカ) [2.6参照]</td> <td>本剤の血中濃度が上昇し、血管攣縮等の重篤な副作用を起こすおそれがある。</td> <td>これらの薬剤がCYP3A4を阻害することにより、本剤の代謝が阻害されるおそれがある。</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(省略)</td> </tr> </tbody> </table>			薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	HIVプロテアーゼ阻害剤 リトナビル含有製剤(ノビーア、カレトラ) アタザナビル(レイアタッツ) ホスアンブレナビル(レクシヴェア) ダルナビル含有製剤(プリジスタ、プリジスタナインブ、プレジコビックス、シムツーザ) エファビレンツ(ストックリン) アゾール系抗真菌薬 イトラコナゾール(イトリゾール) ボリコナゾール(ブイフェンド) ボサコナゾール(ノクサフィル) コピシスタット含有製剤(ゲンボイヤ、プレジコビックス、シムツーザ) ニルマトレルビル・リトナビル(パキロビッド) レテルモビル(プレバイミス) エンシトレルビル(ゾコーバ) レナカナビル(シュンレンカ) [2.6参照]	本剤の血中濃度が上昇し、血管攣縮等の重篤な副作用を起こすおそれがある。	これらの薬剤がCYP3A4を阻害することにより、本剤の代謝が阻害されるおそれがある。	(省略)			<p>10. 相互作用 本剤は主にCYP3A4で代謝される。</p> <p>10.1 併用禁忌 (併用しないこと)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>薬剤名等</th> <th>臨床症状・措置方法</th> <th>機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>HIVプロテアーゼ阻害剤 リトナビル(ノビーア) アタザナビル(レイアタッツ) ホスアンブレナビル(レクシヴェア) ダルナビル(プリジスタ・プリジスタナインブ) エファビレンツ(ストックリン) アゾール系抗真菌薬 イトラコナゾール(イトリゾール) ボリコナゾール(ブイフェンド) ボサコナゾール(ノクサフィル) コピシスタット含有製剤(スタリビッド) ニルマトレルビル・リトナビル(パキロビッド) [2.6参照]</td> <td>本剤の血中濃度が上昇し、血管攣縮等の重篤な副作用を起こすおそれがある。</td> <td>本剤での報告はないが、CYP3A4の競合阻害により、本剤の代謝が阻害されるおそれがある。</td> </tr> <tr> <td>レテルモビル(プレバイミス) エンシトレルビル(ゾコーバ) [2.6参照]</td> <td></td> <td>CYP3Aの阻害作用により、本剤の代謝が阻害されるおそれがある。</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(省略)</td> </tr> </tbody> </table>			薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	HIVプロテアーゼ阻害剤 リトナビル(ノビーア) アタザナビル(レイアタッツ) ホスアンブレナビル(レクシヴェア) ダルナビル(プリジスタ・プリジスタナインブ) エファビレンツ(ストックリン) アゾール系抗真菌薬 イトラコナゾール(イトリゾール) ボリコナゾール(ブイフェンド) ボサコナゾール(ノクサフィル) コピシスタット含有製剤(スタリビッド) ニルマトレルビル・リトナビル(パキロビッド) [2.6参照]	本剤の血中濃度が上昇し、血管攣縮等の重篤な副作用を起こすおそれがある。	本剤での報告はないが、CYP3A4の競合阻害により、本剤の代謝が阻害されるおそれがある。	レテルモビル(プレバイミス) エンシトレルビル(ゾコーバ) [2.6参照]		CYP3Aの阻害作用により、本剤の代謝が阻害されるおそれがある。	(省略)					
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子																											
HIVプロテアーゼ阻害剤 リトナビル含有製剤(ノビーア、カレトラ) アタザナビル(レイアタッツ) ホスアンブレナビル(レクシヴェア) ダルナビル含有製剤(プリジスタ、プリジスタナインブ、プレジコビックス、シムツーザ) エファビレンツ(ストックリン) アゾール系抗真菌薬 イトラコナゾール(イトリゾール) ボリコナゾール(ブイフェンド) ボサコナゾール(ノクサフィル) コピシスタット含有製剤(ゲンボイヤ、プレジコビックス、シムツーザ) ニルマトレルビル・リトナビル(パキロビッド) レテルモビル(プレバイミス) エンシトレルビル(ゾコーバ) レナカナビル(シュンレンカ) [2.6参照]	本剤の血中濃度が上昇し、血管攣縮等の重篤な副作用を起こすおそれがある。	これらの薬剤がCYP3A4を阻害することにより、本剤の代謝が阻害されるおそれがある。																											
(省略)																													
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子																											
HIVプロテアーゼ阻害剤 リトナビル(ノビーア) アタザナビル(レイアタッツ) ホスアンブレナビル(レクシヴェア) ダルナビル(プリジスタ・プリジスタナインブ) エファビレンツ(ストックリン) アゾール系抗真菌薬 イトラコナゾール(イトリゾール) ボリコナゾール(ブイフェンド) ボサコナゾール(ノクサフィル) コピシスタット含有製剤(スタリビッド) ニルマトレルビル・リトナビル(パキロビッド) [2.6参照]	本剤の血中濃度が上昇し、血管攣縮等の重篤な副作用を起こすおそれがある。	本剤での報告はないが、CYP3A4の競合阻害により、本剤の代謝が阻害されるおそれがある。																											
レテルモビル(プレバイミス) エンシトレルビル(ゾコーバ) [2.6参照]		CYP3Aの阻害作用により、本剤の代謝が阻害されるおそれがある。																											
(省略)																													
<p>10.2 併用注意 (併用に注意すること)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>薬剤名等</th> <th>臨床症状・措置方法</th> <th>機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">(省略)</td> </tr> <tr> <td>マクロライド系抗生物質 エリスロマイシン クラリスロマイシン シメチジン スチリペントール グレープフルーツジュース</td> <td>本剤の血中濃度が上昇し、血管攣縮等の重篤な副作用を起こすおそれがある。</td> <td>これらの薬剤がCYP3A4を阻害することにより、本剤の代謝が阻害されるおそれがある。</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(省略)</td> </tr> </tbody> </table>			薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	(省略)			マクロライド系抗生物質 エリスロマイシン クラリスロマイシン シメチジン スチリペントール グレープフルーツジュース	本剤の血中濃度が上昇し、血管攣縮等の重篤な副作用を起こすおそれがある。	これらの薬剤がCYP3A4を阻害することにより、本剤の代謝が阻害されるおそれがある。	(省略)			<p>10.2 併用注意 (併用に注意すること)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>薬剤名等</th> <th>臨床症状・措置方法</th> <th>機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">(省略)</td> </tr> <tr> <td>マクロライド系抗生物質 エリスロマイシン クラリスロマイシン シメチジン キヌプリスチン・ダルホプリスチン スチリペントール グレープフルーツジュース</td> <td>本剤の血中濃度が上昇し、血管攣縮等の重篤な副作用を起こすおそれがある。</td> <td>本剤での報告はないが、CYP3A4の競合阻害により、本剤の代謝が阻害されるおそれがある。</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(省略)</td> </tr> </tbody> </table>			薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	(省略)			マクロライド系抗生物質 エリスロマイシン クラリスロマイシン シメチジン キヌプリスチン・ダルホプリスチン スチリペントール グレープフルーツジュース	本剤の血中濃度が上昇し、血管攣縮等の重篤な副作用を起こすおそれがある。	本剤での報告はないが、CYP3A4の競合阻害により、本剤の代謝が阻害されるおそれがある。	(省略)		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子																											
(省略)																													
マクロライド系抗生物質 エリスロマイシン クラリスロマイシン シメチジン スチリペントール グレープフルーツジュース	本剤の血中濃度が上昇し、血管攣縮等の重篤な副作用を起こすおそれがある。	これらの薬剤がCYP3A4を阻害することにより、本剤の代謝が阻害されるおそれがある。																											
(省略)																													
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子																											
(省略)																													
マクロライド系抗生物質 エリスロマイシン クラリスロマイシン シメチジン キヌプリスチン・ダルホプリスチン スチリペントール グレープフルーツジュース	本剤の血中濃度が上昇し、血管攣縮等の重篤な副作用を起こすおそれがある。	本剤での報告はないが、CYP3A4の競合阻害により、本剤の代謝が阻害されるおそれがある。																											
(省略)																													

以上

～最新の電子添文はこちらから～

メチルエルゴメトリン錠0.125mg「あすか」



メチルエルゴメトリン注0.2mg「あすか」

